

十月のぬりゑ

及川ふみ

梧桐とかたつむり

梧桐の葉の紅葉もなか／＼捨てがたいものであります。黄色く綺麗に色づいてゐるうちにみどりの色をあちこちにのこしてゐるのもあり、黄色とかげ色と染めわけの様なつてゐるのもあります。

園庭におちてゐる葉を拾つて思ひ／＼にぬらせるとよいと思ひます。これは年長組にも年少組にもどちらの組の材料としてもよろしいでせう。

芙蓉の花

この花は一日きりのものであります。毎日の様につぎつぎと開きますから一株二株の花がありますと幼児には充分観察の機會はあります。

花の色は濃い、桃色や、うすとき色や、白などありますが、うすとき色がぬりゑとしてよいと思ひます。ひらいてゐる花一つ、つぼんだ花一つ、蕾二つで、つぼんだ花は開いてゐる花よりも色を濃くつけます。

これは年長組の材料によいと思ひます。

からすうり

郊外の散策の折、雑木にかんでゐる真赤なからすうりの姿はほんとに可愛らしいものであります。

實の一つは全部橙色に少しあかみをつけて、一つは橙色の一部分に緑のところを見せてぬるとよいと思ひます。

この材料は年少組のものに出来る事と思ひます。